

## BS 追加 4 チャンネルに対する既存無線局との関係について

影響度の高い順に以下のとおり整理。

### 1 BSのサービスリンク（ダウンリンク）と受信障害対策用SHF局の関係

地上波アナログ放送の難視聴などに利用される障害対策用SHF局は、廃局前倒し以外の解決方法はない。

[別添「受信障害対策放送用SHF無線局の運用状況」参照。]

### 2 BSのフィーダリンク（アップリンク）と無線アクセス用無線局の関係

該当周波数に現時点で無線アクセス用無線局は存在しませんが、来年度（秋頃）開設する見込がある。

技術的共用条件は策定されており共用は可能であるが、BSフィーダリンク局との設置場所の位置関係により影響を受ける可能性があるため、免許の条件等の整理が今後必要。

### 3 BS 受信機の間周波数との関係

航空路監視用レーダー、携帯電話等との周波数が重なるが、BSのアンテナ設備（同軸ケーブル等）の側で遮蔽性の高い物を用いるなどの方法で解決可能と考える。影響の度合いと遮蔽の関係については、今後、数値的検証が必要。

[ 別添 ]

受信障害対策放送用 SHF 無線局の運用状況

設置場所	対象世帯数		地上波テレビ放送の ch 数		備考
	開設当初	再免許時点	アナログ	デジタル	
宮城県 仙台市泉区	H10 6,443 世帯	H15.11 7,121 世帯	6	6 (放送中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 社 (H16 自己破産) H10 B 社 H15 C 社と免許人が代わり現免許人は実態を把握できていない。</li> <li>・ 開設時点で障害発生が予想された世帯は無償で受信機を配布と推察。その後、放送区域内に移住し要望がある世帯などは実費で受信機を購入。(既に受信機は入手不能)</li> </ul>
東京都渋谷区	H2.3	H15.11 39,756 世帯	9	8 (放送中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度内に廃止予定。</li> <li>・ 免許人が受信機を配布</li> <li>・ 放送大学のデジタル放送がないためアナログより 1ch 少ない。</li> </ul>
東京都品川区	H15.5	H15.11 1,640 世帯	9	8 (放送中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許人が受信機を配布</li> <li>・ 放送大学のデジタル放送がないためアナログより 1ch 少ない。</li> </ul>
神奈川県 横浜市中区	H8.11	H15.11 1,065 世帯	9	8 (放送中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許人が受信機を配布</li> <li>・ 放送大学のデジタル放送がないためアナログより 1ch 少ない。</li> </ul>
兵庫県 南あわじ市	H8.6 6,482 世帯	H15.11 6,482 世帯	7 うち対策 対象 4 ch	7 (H20 年度予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許人が受信機を未配布</li> <li>・ 免許人が障害対象数を把握</li> <li>・ 個別パラボラ受信施設：230 戸、補完共同受信施設：343 戸 南あわじ市(旧三原町、旧西淡町域)にて旧町の CATV 施設への未転換世帯が数十世帯、未だ SHF 電波を受信。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空機着陸コースのため航空機の通過時に発生するワッター障害対策施設</li> </ul> </li> </ul>
兵庫県 神戸市垂水区	H9.10 144,253 世帯	H15.11 142,739 世帯	7	7 (H18.3~)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許人が受信機を配布 (維持管理)</li> <li>・ 免許人が障害対象数を把握</li> </ul>
兵庫県 神戸市垂水区	H9.10 134,293 世帯	H15.11 137,304 世帯	7	7 (H18.3~)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許人が受信機を配布 (維持管理)</li> <li>・ 免許人が障害対象数を把握</li> </ul>

ワッター障害：建物などに電波が反射し画面がちらつく等の受信障害 (デジタルでは影響は少ない)

なお、兵庫県南あわじ市のケースは、関西国際空港の航空機に電波が反射し発生するもの。